



# こころの虹

OIKAWA HOSPITAL INFORMATION KOKORO no KAKEHASHI

♥ホームページ URL <http://www.oikawahp.net> ♥Eメール address [info@oikawahp.net](mailto:info@oikawahp.net)

編集・発行

医療法人 にゅうわ会

## 及川病院

〒810-0014  
福岡市中央区平尾2丁目21-16  
TEL 092-522-5411

No. 26 2012年06月 発行

### 患者様の権利と義務

患者様には「ご自身が生命の主人公」として、医療従事者とのよりよい人間関係を築いていけますよう以下の「守られていること」「守っていただきたいこと」があります。

#### 人格権

患者様は個人としての人格、価値観などを尊重されます。

#### 受療権

いつでも必要かつ十分な医療サービスを受けるために、医療機関を選択する権利があります。

#### 知る権利

病名、病状、診療計画、検査・手術、薬、必要な費用などについて、納得できるまで説明を受ける権利があります。

同時に、私たちに既往歴、現病歴、現在の治療内容、アレルギー歴など健康に関する情報を正確にお伝えください。

#### 自己決定権

十分な説明を受け、理解した上で、提案された診療計画などを自らの意志で決める権利があります。

同時に、それらの内容に関する指示を守る義務があります。納得できない場合は、他の医師や医療機関の意見を求めることができます。

#### プライバシーに関する権利

個人の秘密や医療に関する個人情報を守られ、私的なことにみだりに干渉されない権利があります。

#### 参加する権利

診療内容や病院の運営につき苦情や意見を述べ、医療改善の活動に参加する権利があります。安全性を高めるためお名前確認などにご協力ください。

当院には『すみれの会』という乳がん患者の皆さんが作られている自主的な会があり、毎月集まって情報交換や食事会、また専門家を呼んで様々な体験等をされています。5月がちょうど100回目を迎え、病院と共催で記念講演会を行いました。テーマは「乳がんと心のケア」。当院の緩和ケア医長 稲光医師の話をも聴かせてもらいました。中でも興味深かったのは「がんになりやすい性格」の話。言われるに、自己主張が弱く過度に忍耐強い、従順で自己犠牲的、感情を抑圧する傾向にある等・・・。また憂うつな女性は乳がんになりやすいとも。では体に何が良いかといえばその逆になるのでしょうか。前向きでストレスのマネジメントができ、リラクゼーションできる術を知っており、生きがいを感じている・・・。笑いも良いそうです。笑いは免疫力を高めるということは広く知られており、『笑いの伝道師』なる独自の資格を作っている団体もあるくらいです。当院では緩和ケア病棟で毎月落語会を催しています。特に考えたことはありませんでしたが、心のどこかでほっとした気分になっているのかもしれない。これは一緒に聴いているスタッフも同じでしょう。100回記念会の後半は『ムゼンクランツ福岡少年少女合唱団』によるコンサートでした。引き込まれるように聴いてらっしゃる顔を拝見すると、これも立派な音楽療法であると思いました。昔から「病は気から」という言葉があります。勿論それだけではないことはわかっていますが、人は「こころの生き物」。こころの持ち方が生理機能に大きく影響するのでしょうか。乳がん患者さんの術後の心理反応と生存率の関係が研究されており、前向きの考えを持つ方の生存率は明らかに高くなっているという報告があります。私たち医療者には、薬や手技を駆使するほかに心をサポートする役目があるとあらためて知らされました。



## 母の日乳がん検診応援キャンペーン

**恒例 母の日 乳がん検診 応援キャンペーン**

乳がんの早期発見は、乳癌専門病院の重要な役割だと及川病院は考えています

親子でいっしょに、友達といっしょに行きましょう。

5/1～6/30

①対 象：「母の日のプレゼント」ですが、既婚・未婚、新患・再来は問いません。症状の無い方の検診に限ります。女性の方のみ。

②期 間：平成24年 5月 1日～ 6月30日の間に受診された方。

③予 約：必ずお二人以上、同日同時間帯でご予約ください。ご予約のお電話はどなたか代表で構いません。その際「母の日キャンペーンで申し込む」とお伝えください。

④検 診 内 容：『自費による乳がん検診』となります。詳しい検診内容につきましてはご予約の際にお尋ねください。（医師の指定はできません。）

⑤プレゼント：検診終了後に『バンフの森』のクッキーを受付にてお渡しします。

受付時間／平日 9:00～17:00 土曜日 9:00～17:00  
092-522-5411 ホームページは及川病院で検索  
携帯電話からはこちら→

- ◎対 象：「母の日のプレゼント」ですが、既婚・未婚、新患・再来は問いません。症状の無い方の検診に限ります。女性の方のみ。
- ◎期 間：平成24年 5月 1日～ 6月30日の間に受診された方。
- ◎予 約：必ずお二人以上、同日同時間帯でご予約ください。ご予約のお電話はどなたか代表で構いません。その際「母の日キャンペーンで申し込む」とお伝えください。
- ◎検 診 内 容：『自費による乳がん検診』となります。詳しい検診内容につきましてはご予約の際にお尋ねください。（医師の指定はできません。）
- ◎プレゼント：検診終了後に『バンフの森』のクッキーを受付にてお渡しします。

受付時間／平日 9:00～17:00 土曜日 9:00～17:00  
092-522-5411 ホームページは及川病院で検索  
携帯電話からはこちら→



## ✧ 新任医師紹介 ✧



乳腺外科医師  
小林 恵美

平成24年4月より乳腺外科で勤務させて頂いております小林美恵です。私は広島県の瀬戸内海に面した町の生まれですが、大学は四国の愛媛で過ごし、のどかな自然の中で過ごしました。研修医になって再び広島県の安佐市民病院という病院で研修しました（その時の上司はなんと久松先生だったのです。。！5年間です。）。その後は再び愛媛の四国がんセンターに勤め、悪性腫瘍全体の診療の研修を行いました。このたび、ご縁がありまして乳腺専門の病院に勤めさせていただきまして本当にありがたく感じております。しっかり日々の診療から経験し、周りの皆さま方から多くのことを学び、患者様の気持ちに寄り添った医師を目指して精進して参りたいと思います。何とぞよろしくお願い致します。



乳腺外科医師  
稲益 英子

4月から外来を担当させていただいています。昨年までは長崎に住んでいましたので福岡は都会すぎて少し怖いという気持ちでしたが、このごろは福岡の人も同じ人間で、しかも長崎の人より優しいような、そんな印象が変わってきました。

新しい出会いの場面で、お互いを知ろうとするときに趣味の話をするとうまいと思うのですが私には語れるような趣味がありません。趣味は？と尋ねられるたびに困ってしまいます。こんなことではいけないと、毎年なにかひとつ新しいことを始めることにしています。テニス、スキューバダイビング、魚釣り、茶道、サーフィン、バイク、カメラ…すべて中途半端です。そんな中で数年前に始めたジョギングはやや続いています。毎日走ったりしていませんが時々市民ロードレースに参加して、その前に少し練習する程度です。ロードレースは景品がもらえたりしてとても楽しいです。スポーツ店でウェアを選んだりするのも最近は種類がたくさんあってかなり楽しい！福岡は道を走っている人がとても多いので私も走ろうと思っています。

そろそろまたなにか新しいことを始めよう、そして続けよう…。おすすめの楽しいことがありましたら教えてください。

# 及川病院 乳がん患者の会 すみれの会 100回記念講演会

患者様の会「すみれの会」がこの度開催100回を迎えました。すみれの会は毎月1回患者様同士の交流や情報交換の場として活動をしています。

100回を記念して、当院の稲光医師により「乳がんところどころ」と題した講演を行いました。心とがんとの関係や、心のリフレッシュの仕方など、体操を交えた講演は時々笑い声も聞かれる楽しいひと時となりました。



講演後の休憩時間には、栄養科からフルーツ入りフレーバーティーがふるまわれ、フルーツの甘い匂いが部屋中を包み込みました。

後半はムゼンクランツ福岡少年少女合唱団がきれいな歌声を披露してくれました。「希望」をテーマに選曲された子供たちの歌声は、明るく力強い未来を感じさせました。



# 2012年 桜まつり IN 及川病院



スタッフ手作りの飾り付けと花咲か爺さんの登場でお祭りはとても盛り上がりました。



桜抹茶ゼリー



たこ焼きは患者様と上馬庭師長の自信作。おかわり～の声も聞こえてきました。



美味しいわた飴作りに挑戦されていました。

今年の桜は全国的に控えめな遅咲きさんでしたね。

そんな中、今年も及川病院に4月14日花咲か爺さん（稲光医師）が、4階病棟の皆様に春のお届けに駆けつけてくれました。

花咲か爺さんは、各お部屋に桜の花びらとともに、春の香りと、癒しの笑顔も振りまいてくれていました。そして、栄養科手作りの桜抹茶ゼリー、看護師出店のたこ焼き、わた飴コーナーなど御家族の方と春のひと時をほのぼのと過ごして頂けたようです。

## 部署紹介 その5 ～4階緩和ケア病棟～



緩和ケア・心療内科部長  
稲光 哲明



看護師15名  
看護助手2名

緩和ケア病棟は、がんによる痛み等の身体的苦痛、精神的な不安や、孤独などを緩和する事を目的とした病棟です。

患者様や御家族がより良い時間を過ごせるようにお手伝いさせていただきます。

入院中でも季節を感じて頂きたいという願いから、4月には桜まつりを催して、患者様や御家族の方に喜んで頂きました。その他にも、夏祭りやクリスマス会など様々な行事を行っています。

緩和ケアについての質問などありましたら、いつでもご相談ください。

## 6. 術後照射(放射線療法)

乳癌の乳房切除(乳切)後に術側の胸壁や腋窩、胸骨旁、鎖骨上などに照射する術後放射線療法が行われてきました。乳切後の放射線療法は局所・領域リンパ節再発を抑制するが、遠隔転移や死亡を減少させないという報告が多く発表されました。とくに、リンパ節転移が4個以上の高リスクの乳癌患者では再発を予防しましたが、1~3個のリンパ節転移陽性の患者では効果ははっきりしませんでした。

1,079例のリンパ節転移陰性の乳癌患者に対して、定型的乳切、腋窩リンパ節郭清を伴わない単純乳切+術後照射、単純乳切+リンパ節転移陽性の場合のみに腋窩郭清を行うという3群、586例の臨床的な腋窩リンパ節転移陽性乳癌には定型的乳切または単純乳切+術後照射の2群に無作為に割り付けた(NSABP B-4試験)。25年の追跡後に、それぞれの術後照射の有無で再発、死亡に差はなかった。すなわち、乳切後の放射線療法は再発予防効果が少ないという結論でした。

一方、乳癌が早期に発見されるようになり、手術として乳房を温存し、乳癌組織のみを切除する乳房温存手術が行われ、術後に放射線療法が追加されることが標準となりました。これは同側乳房内の取り残しの可能性がある癌細胞や多発癌を制御するもので、通常は約50グレイを乳房に照射し、場合により癌の存在した場所(腫瘍床)に約10グレイを追加照射(ブースト)します。

4 cm以下の1,851例の乳癌患者に単純乳切+腋窩リンパ節郭清、乳房温存+腋窩郭清、乳房温存+腋窩郭清+照射の3群を比較した(NSABP B-6試験)。20年の追跡で、乳房温存手術に放射線療法を追加することにより、同側乳房内再発は39.2%から14.3%に低下した( $P<0.001$ )。全体の3群の無病生存期間、無遠隔転移生存期間、全生存期間には差がなかった。

EORTCの乳房温存手術後の照射の有無に関する17試験(10,831例)オーバービュー(2011年)では、放射線療法は再発を15.7% $(2P<0.0001)$ 、15年乳癌死亡のリスクを3.8% $(2P=0.00005)$ 低下した。リンパ節転移陰性例では、再発の絶対的リスクを15.4%、乳癌死亡を3.3%低下した。再発リスクの低下は、年齢、グレード、ER発現、タモキシフェン投与の有無により異なった。リンパ節転移陽性例では、10年再発リスクを21.2%、15年乳癌死亡リスクを8.5%低下した。このように、乳房温存手術後の照射は再発を抑制しますが、非常に早期の乳癌では放射線療法は必要がない可能性も残されています。

一方、乳癌術後の放射線療法にはわずかであるが種々の副作用、合併症があります。急性期には放射線の当たった皮膚の発赤、かゆみ、いたみや硬化があり、肺炎、肺線維症、重複癌や虚血性心傷害(とくに左乳癌)の可能性が報告されています。とくに、左乳癌に対する照射とアンスラサイクリン系の化学療法の同時併用の心臓への影響が危惧されています。

現在では、乳癌の術後には化学療法やホルモン療法、トラスツズマブなどの分子標的治療を術後補助療法として使用し、再発や死亡のリスクを低下します。放射線療法と全身的な術後補助療法の組合せが再発のリスクを低下すると考えられます。たとえば、リンパ節転移陰性、1cm以下の浸潤性乳癌患者1,009例を乳房温存手術後にタモキシフェン、照射、照射+タモキシフェンの3群に無作為に割り付けた(NSABP B-21試験)。同側乳房内再発のリスクは照射群でタモキシフェン単独群に比べて49%低下した。照射+タモキシフェン群の再発リスクは照射群に比べて63%低下し、タモキシフェン群に比べて81%低下した。対側乳癌は照射群に比べて照射+タモキシフェン群で明らかに低下した。遠隔転移、生存期間には差がなかった。

これらの全身治療と放射線療法の併用のタイミングが問題となります。一般的には、まず放射線療法を行い、次いで全身療法を行うという意見が多いのですが、同時併用との無作為化比較試験は少なく、タモキシフェンと照射の同時併用の後ろ向き試験3件のメタアナリシスではタモキシフェンと照射の時期の相互関係は予後に影響しなかった。今後の問題点です。